

2023 年度 新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究

研究計画書作成・記入要領

看護研究交流センター

研究申請書様式 2-②は、新潟県立看護大学看護研究交流センター（以下「センター」略）の地域課題研究費助成金の交付を申請しようとする者が、あらかじめ当該研究計画に関する概要を記入し、センター長あてに申請するものであり、地域課題研究費助成金審査の資料となるものである。

下記の点に留意した上で、指定された研究計画書様式を使用し、共同研究者である本学教員の指導の下、作成すること。所定の様式の改変は認められない。

なお、審査の結果は「地域課題研究費助成金決定」をもって通知する。

研究のメンバー・テーマ・方法等の申請内容に変更があった場合は、速やかに申請内容変更届様式 3 と研究計画書（申請内容変更届用）を提出すること。なお、研究のテーマ・方法の変更内容によっては変更が認められない場合がある。

記

注意

研究メンバーは新潟県内の看護職と本学の教員で構成する。申請代表者は新潟県内の看護実践に携わる看護職とし、本学の教員（教授、准教授、講師、助教のいずれか）を共同研究者とする。

申請できる研究テーマ数は1件に限るものとする。

1. 「学内責任者」は1名とし、研究メンバーに複数の本学教員がいる場合も同様とする。
2. 「所属」欄には、研究計画書作成時点での所属・職を記入する。
3. 「研究経費」の欄には、研究計画に基づいて、使用内識別にそれぞれ記入し、総計を記入する。

予定予算を下回することは可能だが、上回ることには認められない。

4. 各経費内訳の明細は、地域課題研究オリエンテーション後、資料を参照の上、項目ごとに「必要とする理由」とともに研究遂行のための経費として**実際の金額を調べて記入する**。

但し、**旅費は申請額全体の6割を超えない範囲**とする。

5. 研究採択後止む無く、研究を中断せざるを得ない場合は、地域課題研究辞退届様式 4 を提出する。なおこの場合、これまでに掛かった研究経費を含む全額を返金するものとする。

記入見本

様式2-②

新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究 研究計画書

		不採用時の評価の開示	①. 希望	2. 希望なし
申請代表者	新潟 花子			
研究テーマ	××における〇〇に関する実態調査			

研究メンバー	氏名	所属	役職
	申請代表者 新潟 花子	〇〇会△△病院 看護師 連絡先：※※-□□-××××	研究代表者
	中越 花子	〇〇会△△病院 看護師	研究メンバー
	高田 桜	※メンバーが多い場合は、枠内で罫線を増やして記載する 看護師	研究メンバー
	学内共同研究者 上越 太郎	新潟県立看護大学 講師	

研究経費

品名 (数量・単価含む)	金額(千円)	用途
〈旅費〉 △△病院—県立看護大学 (車) 〔@22 × 160 km (往復)+ 高速代 4,000〕 ×3回	23 千円	研究指導を受けるため
〈需用費〉 A4 コピー用紙, 封筒 書籍代 (@2,200×2) (@2,800×1)	6 千円 7.2 千円	質問紙調査に使用 参考文献の購入に使用
〈役務費〉 郵送料 (@120×300, (@99×100 テープ起こし(派遣) (@1,700×4 時間)	4 6 千円 7 千円	質問紙送料・返送料として 質問紙調査集計作業の人員確保のため
〈報償費〉 講師料 (@4,700×2 時間)	10 千円	〇〇〇研修の講師料とする
(※@は単価)	* 合計金額の千円未満の端数は切り上げる	合計金額 <u>100 千円</u>

研究目的（研究の背景、研究の目的、予想される結果と意義、関連する研究の中での当該研究の位置づけ）

※所属施設内で生じている課題の提示だけでなく、研究テーマに関連する既存研究も調べ、研究の必要性が高く、地域の看護実践上の問題解決の取り組みとして寄与できる研究テーマであることを述べる。

※研究期間内で、何をどこまで明らかにするのかを明確に述べる。

研究計画の概要（研究目的を達成するための研究計画・方法）

- 研究の対象・場所、データとその収集方法、分析方法を項目ごとにできるだけ具体的に記載する。

倫理的配慮

※研究遂行にあたり必要な倫理的配慮を明記する。原則として、本学または申請代表者の所属機関等の倫理委員会の承認を受けて実施すること。